

学生と協

夢か、学生会館の建設

落着く所のない学生たち

会話の場がない

大学は単に知識のみを吸収する場ではない。学生間、学生と教員間のコミュニケーションを通じて行われる人間形成の場でもある。これは、いかに重要でもない。しかし、現在の大学の環境は、この機会を拒んでいる場合が多い。この機会を、

望まれる生協の設立

売店運営に積極的な取り組みを
か。

改善は積極的

売店の品目を多く
か。

学生用は二千冊

学生用は二千冊
か。

お粗末な控室

お粗末な控室
か。

低い図書利用率

まず利用者が要求を

疑問の多かった

過去の経営

進む売店の再建

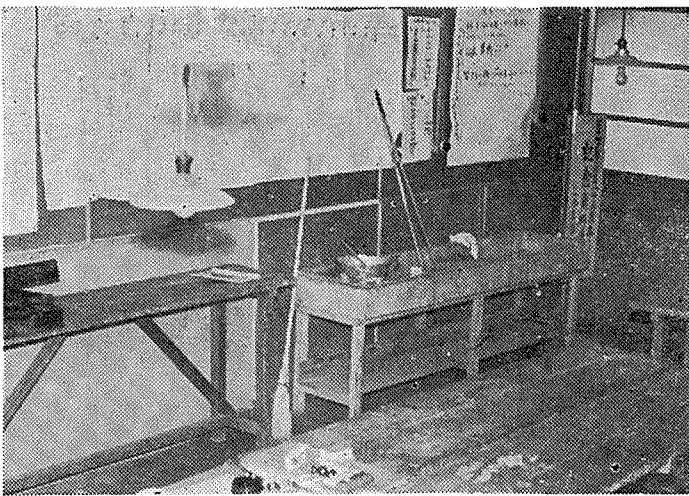
食堂その後

この特集におもむき

この特集におもむき

この特集におもむき

この特集におもむき



さむぎむとした学二控室

はじめ、タバコ、キャラメル、チ
この問題にどう対応している。す
に準備委員会が発足し、理念の検
討、他大学訪問、資料作成などの
仕事にあたり、建設運動の基礎が
たのめられた。

いくために定期に収支決算を明
らかにしている。いまだに
もって利用できる状態にありな
が、利用されていないのは、
結局売店が充実していないため
だ。これをさらに充実させる
やがては生協設立という方向に
つなげていきたい。優秀な職員
によって直接運営されれば、も
っと安く、良い品物を学生に利
用してもらうことができる。

東芝放射線株式会社
放射線機器
医療用 計測機器
医用電子機器
KCDH型診断用X線装置
本社 東京都中央区銀座7丁目5(ニューギンザ第一ビル) (571) 5571-6171
東京支店 東京都中央区銀座7丁目4(菅原ビル) (571) 5901
千葉出張所 千葉市 千光 5 番 地 (2) 2598

伊藤超短波株式会社
マイクロウェーブ治療器
超短波治療器各種
超音波治療器各種
低周波治療器各種
電気診断装置各種
カタログ御請求下さい
本社 東京都文京区九山新町30 電話(921) 0624
営業所 大阪市東区南久宝寺町5の7 (25) 5429
名古屋市中区大池町5の2 (24) 0393

学園の生活に夢を
改善の要求を積極的

冊である。各冊に主として蘭所の本がおかれ、学三、学四の人が利用し、本館には主として基礎の本がおかれ、学一、学二の人が利用している。蔵書数 十万といっても、千葉医専時代からの雑誌や教室備えつけの本も含まれ、結局学一、学二の使える本は六冊、学三、学四の使える本は三冊冊と云ふことになる。

一カ月に閲覧者
十人貸出は十冊

これらの本がどの程度利用されているかという点、さらに淋しい限りである。本館では、年間閲覧者が、学生で二八八人、職員二五九人、館外に貸出される本は、学生

が二二冊、職員がぐっと多くて二五六七冊貸出す。月平均の閲覧

者が學生で十人、貸し出される本が十冊ということになる。分館は學三、學四の控室のすぐ近くにあるせいかもう少し利用されている年間の開覧者は學生で二倍の二五九人、職員七四人、館外貸出者十

学生で二倍の二五七人、職員は二五三人である。アンケートの結果によると、図書館を全然利用していない人は、学一、学二とも約五〇%いるから学一、学二の半分

ま
と
め

学園の十分な施設、設備は学生の生活を支かにし、実のあるものにする、ことはいまでもない。しかし学園の現状は学生にとって恵まれた環境といふには程遠いといつても過言ではない。学生にとって身近な問題をとりあげてみても、その貧弱さはいくらとていふところではないだろうか。

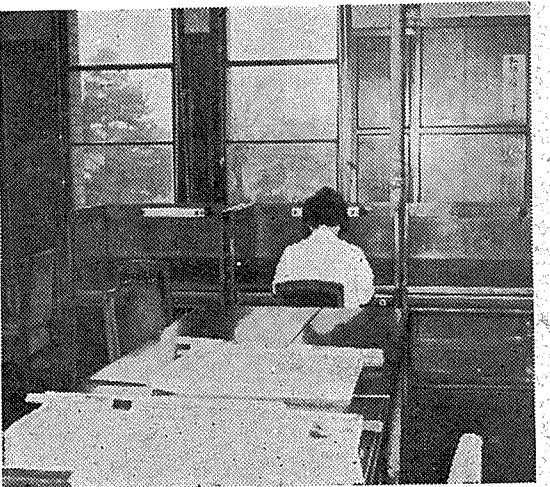
がっている。逮する図書館の位置、學生にとって利用できる蔵書の少なき、貧弱な設備と選い上に満員で入れない寮、貧しい食堂の献立、あつても利用できるような状態にない學生控室、足りないサイクルの部室などなどあげればきりがない。

いまや、學生側の環境改善に對する積極的な働きかけの必要性は實なものとなっている。そのたには、現在の停滯きつた自治活動の再建は急務である、學生福利厚生改善を検討する學生と學当局の話し合いの場の確立、職員と學生で組織する生協設立運

ところが本学の場合、いまだでこのういった不自由さに対する不満はほとんど所にならなかつたし、ましてや、大学当局自身の改善の努力は誠におそまつといつてもよいだろう。おきめきつたような不満が学生の間に沈んでいるのが、編輯部の試みたアンケートにもうかがえる。食堂の経営者は改善に対する学生の非協力を口実にし、

現在の諸々の不満を集中的に解消する学生会館建設の運動など、治会を中心とした学生全体の積極的な取り組みが望まれる。学生自から自治を放棄するような状況の中には、改善の道はありえないの意味で、この特集が学生を心とした大学全体の学園作りの助となることを願つてやまない

他の学部と較べると、かなりの類一んどいなかった。



利用者の少ない図書館分室

ら食堂は放棄した。売店は六年ほど前に開店され、自治委員の中から選ばれた厚生係が間接的に在庫調べ、帳簿調べ、財産管理にたずさわり、仕入れ、販売、会計などの直接の仕事は自治会が雇つてい

「今後は、みんなの売店にして、

学校当局、食堂、学生の公聴会で、値上げはすぐには行なわないことになったが、値段すえ置きで、質を下げられたら、なおまいる。これからの折衝が見ものというところか

図書館長の岡林教授は、基礎新館用度をはかる程熱心でなく大胆の学二講義室の上の広い部屋を今ないからだといいえる。

話し合う機会が多くなると考え、図書館部室を要求するように、

年の夏に、スライドや写真をおいて展示室にする予定だが、そこに学生用の基礎の本を置けないことはない。学生側から要求があり、教授会で許可がおりれば実現できるであらう。そうするとますます本館へいく人がいなくなつて困るのが、上層つた。

図書館が利用できない状態にある学生側についていえば学生の利
の積極性
ほしい双方

管理する側にも同じことがいえるのではないか。図書館は、常に閲覧者に利用されやすく、親し存在であるべきで、現在の状態もっと利用されるような管理が、まれるべきである。

それには、まず、単行本はいうまでもなく、

およぼす 学術情報雑誌の完全な

ほしい双方
の積極性

図書館が利用されない原因は、端的に言って、図書館側の「必要ない」という学生の側からの動

録作製が行なわれるべきであ
う。さらに予算の関係上、医学

ら選くても来るべきだし、夜遅くまで図書館にもって勉強する位の熱心さをもってほしい」という考えと、学生側の「近くて手帳に利用できるならば利用したいが、近くの部屋にうつされれば、そ

必 以外の本の購入が困難であるこ
っ はわかるにしても、百科辞典が
え いブリタニカぐらいとは、まご
も に淋しいかぎりである。
こ ライブラリアンとしての自負と

利用しなくとも構わない」といいう
考えが、くい違つており、学生側は
図書館を自分達の利用しやすい状
態におこうとする程積極的でなく
るが、あれば活動をもつて
けることができるし、部員同志

と醒を望むのは醒なことだ。ところが学生の図書館利用をもっと望むとともに、図書館の学生への一層働きかけ、これらの相互作用による現状改善がなされるべきである。

一のボリューム、二に栄養
三四が無くて五にサービス

生活、特に学生時代では、その協会が、本学部の食堂をひきうけただけで、アンケートにみられるところでも、かなり大きいと考えられる。食生活の面でわれわれは、一めると、大体次のとおり。これは、結局、学生側の不満が、自治会の厚生委員を通して、食堂側へ述べられていない。

食堂の経営についてみると、
経営は、財団法人福祉協会が行な
っている。この協会は、終戦後、
急案件にあった学生の食料事情の
安定をはかることを目的として、
本人の有志によって設立された。
その後食料事情の好転に伴い、協
会新館の完成とともに、同窓会館
サービスのごとくである。その

なつていた。ところが食堂委員の
多忙、食事内容に対する不満など
の理由から、当時稲毛の文理の食
堂を経営していた当協会に本学部
の経営もまかせることになったと
のことである。食堂は、当時、ま
だ学生会館内にあったのだが、基
本であるが、朝食、夕食は由

学生側のはっきりした意志表示が
望まれるところである。

食堂利用者は、一日、平均約四百
七十人で、その大半は昼食利用
で占められている。経営状態は

昼食はと

食費は学校関係だけでなく、銀行や、
に移動し、現在に至っている。
農芸などの食堂経営もひきうける。従つて食堂経営については学校当局、学生側は、なんら関係してないことになる。ただ夏休みや冬休みなど、長期間の休みの前に、食堂、学校当局、学生側から自治会の厚生委員が集まって、協議が行なわれるだけである。ところがその席上では、休暇中の食堂閉鎖期間や価格などが主に協議される。

めもあつてか、協会は学校側の銀行方面に力を入れているのが現状である。この四月には、ちやむじにおわつたことが、値上げ問題も起つている。

不満はあるけれど

さらに学生だけに限つてみるとアンケートの結果からは、食堂



食事時には並ばなくてはならない食堂

くてもすむようにとの声がかなり多い。この点に關しては前に一度改善要求の声があったが、うやむやに包わってしまったらしい。それに清潔に、食堂の拡張、利用でける時間の延長などの要求がみられる。これらの点については、食堂の語によると、食堂、学校当局、学生側代表（自治会）の三者会談の際に学生側から具体的提案がほとんどなされない、従つて、食堂としてはどうしていいかわからないとのこと。

つまり学生個人としてはかなりの不満があるが、その不満を統一的な形で表現するには、困難な点があるといふことがうかがふであらう。

一流出版社と直結して

新刊 医学・歯科医学・薬学・看護学・婦学・栄養学の各書籍・雑誌も間に合う弊店を御利用下さい

10月15日より新店舗に移転

新店舗は旧店舗より約20%

千葉市文鼻町51 大学病院

株式会社 志学

電話 千葉(2) 85
振替 東京 112

排便の
生理機構の研究から
新しいタイプの
便秘治療剤が
開発されました！

■組成及び作用
本剤はレシ
複合坐剤で
有効量の炭
々に発生せ
を高める事
実に生理的
を發揮する

■本剤の特長
●使用が簡便
排便作用の

医師からも患者からも希望された時間内に起る。

- 不快感・副作用・習慣性の心配がなく、同一時刻の連用により、排便反射を正常にし、薬剤なしに自然排便を見るに至る。
- 下剤の使用による排便と異り、便が正常である。

包装 12坐剤・60坐剤

●文献・供試品送呈

レシカルボン坐剤

発売元・ゼリア化学株式会社 東京都中央区日本橋小舟町2-3
輸入元・ゼリア株式会社 製造元・西独・アーテンシュタットレダー社

大学祭華やかに開催

昭和三十七年度の大学祭は、医学部、看護学校、X線技師学校、助産婦学校の参加で、十一月二十二日夜の音楽祭で幕を開け、四日にわたって行なわれた。二十三日の衛生学実習発表会、福山教授、大塚敬節氏の講演会、「ジョン・グレン地球をまわる」などの記録映画会、二十四日の看護による症例研究会、CPC「腎炎について」「戦艦ポチョムキン」などの映画会、二十五日の運動会と連日の催し物のほか、寒川セツメント、東洋医学研究会、写真部、白鷺社の各展示会、演劇部公演「ガラスの動物園」の多彩な行事が行なわれた。二十年來という寒さのせい、参加者はほとんど学生だけで、先輩の観客が少なかったのはさびしかったが、運動会が四年ぶりに行なわれ、伝統の復活を思わせた。

SLEとネフロゼ 活発な学生C・P・C

学生CPCは、大学祭三日目の二時三十分、病棟講堂で行なわれた。臨床側からは、一内東条講師ほか同第五研究室の諸氏が出席。病理側からは岡林教授、藤本助教が出席した。

満場は爆笑の渦に 運動会四年ぶり

運動会は、二十五日、おからの寒風をうけて午前九時から行なわれた。満場の爆笑を誘った。

学生はこの種の会では今迄例を見ない百四十余名が参加、会場は超満員となった。

運動会は、二十五日、おからの寒風をうけて午前九時から行なわれた。満場の爆笑を誘った。呼ぶ物のマソンでは、目ごの銀熊にも言わせて、一位バドミントン部大沼(医進二年)、二位山部崎山(学三)、三位卓球部林(医進二年)の運動部の三氏が入賞、それぞれ「御立立券付ワイシャツ」「革手袋」「シレット」の賞品を獲得した。

看学生張り切る 看学生張り切る

本年の大学祭では、看学生の活躍が目立った。運動会、合唱、演劇などに参加したほか、例症研究会は、医学部そのものの立派なものであった。

東日本の記録映画も

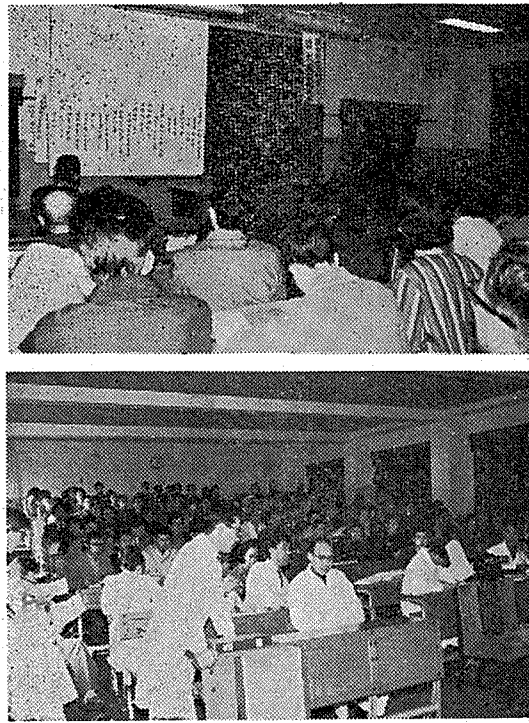
「高血圧」「房室結核」「ジョーン・グレン地球をまわる」「ソ連風物詩」の記録映画会、「戦艦ポチョムキン」「自伝」の演劇映画と映画会が二日続いた。

参み出る経験の味

二十三日十時三十分、新館第一講義室で、福山右門教授(第一解剖)の講演が行なわれた。

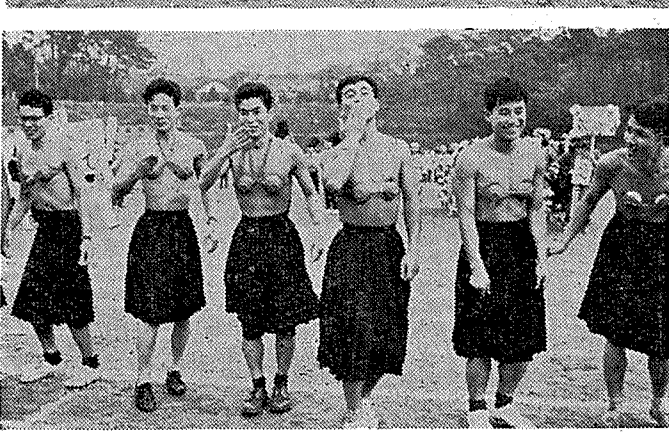
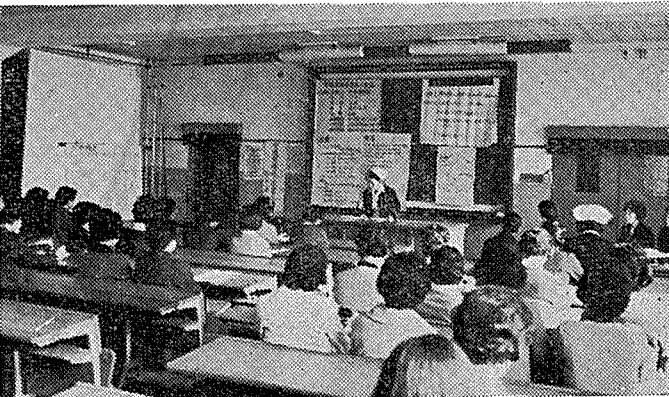
共同デスク声明

学連の弱体化、早急な克服が、五、六の成果は大会の歴史の発展と共に、参加者一人一人の学連新聞、順天堂大学新聞、千にも響き渡るべきではないか。過去の大会において不毛な論争が行なわれた原因の二つは、一、八回に至るまでの経過で、我々が社会環境についての理



講演する大塚氏(上) CPCで説明する藤本助教(下)

仮装行列では、学一の「医学生」のなれは「は、生理学出身のバタヤ(整理の大家)、細菌学出身の納豆屋、組織学出身のデバ亀」のぞいては「いり」などの傑作が、腹の皮をよじらせた。最後に全員参加の綱引が行なわれたが、「ヨイト」の合図で勢よく引張ると綱が真中でフツリと切れてしまった。これも大笑



例症研究会で発表する看学生(上) 仮装行列で、熊祭を踊る看学1年(中) ラインダンスに女装した学3の面々(下)

疾走する若駒

新発売

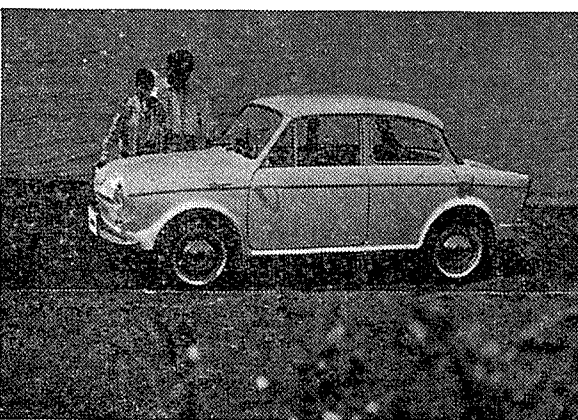
三菱コルト

デラックス

粋いも新らたに、フレッシュなスタイルと機能で皆様を魅了するでしょう。

千葉菱和自動車株式会社

本社 千葉県千葉市浜野町1025番地
工場 TEL 千葉(2)8296-7 番



ヒマラヤに夢を追って

趣味を語る

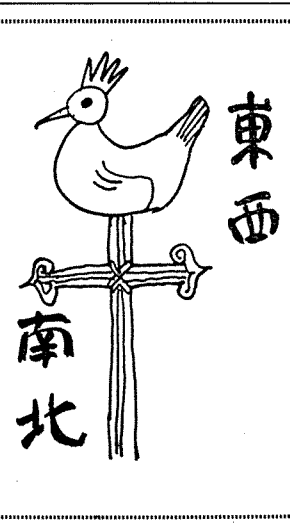
山男生いたちの記
嶋田晃一郎

僕が記憶に残っている最も古い山は、信州飯田盆地から眺めた南アルプス・赤石の連山である。中でも、良く晴れた晩秋の朝、前衛の山々は、まだ、名残の紅葉に赤く染まっているのに、ひとりで山を歩くと、一段と高くそびえたその山を眺め、今もって僕の脳裏に強く焼きついている。戦争中、昭和十九年から二十一年にかけて、飯田市の近郊、開明に疎開していた僕は、一年数ヶ月の間、朝夕、この赤石の連山に接し、東の空を眺めて、山を歩いた。いつしか憧れに似た気持ちを抱くようになった。いつかあの頂上へ立って、この町や村を見おろしてみたいと、強く願うようになった。

やがて、戦争は終り、僕は再び東京に戻ったが、実際に山登りをしようと思ったのは、高等学校を卒業してからだった。高等学校で、山登り部に入部した。多くの登山者と同じように、僕も山登りを、まず、秩父、奥多摩、丹沢など、いわゆる、山のハイキングから始めた。その頃、登った川吉山や、大菩薩の頂上からは、同じような山々が四方に続き、その先の山が広がった平原に、町や村が点々と散在し、まるで、お伽の国の箱庭でも見るようになった。

お互いに、高めあい、豊かな人間性を創りあげようという志をもち、山登り部に入部した。山登り部は、来春、永年の精進の場であり、人格を磨く道場だといったら、大袈裟であろうか。これまで述べてきて、今まで、幼い文字を、並べてきたが、その大半は、ひとりよがりの感情であり、過去の思い出にすぎないことに気がついた。僕は、『思い』よりも、憧れを述べたい。憧れは、フランスのある名登山家の言葉を思い出す。過去を去った思い出は、みな、過去の夢の残骸にすぎない。その過去を、少しでも、美しく、うたため、最後に、僕の『夢』に思いをよせねばなるまい。

【昭和37年・都立豊稷病院】
学生の頃、夢の世界としてヒマラヤに、思いをこらし、書き綴った。編纂部では、会報第十三号から三回にわたり本学関係病院一覽を、掲載してまいりました。これに對して、一読者から、資料が不完全であり、このまま掲載していくのは、誤解をまねく恐れがあるとの指摘をいただきました。編纂部は、これに種々検討を加え、結果、掲載は不適当であると認め、資料の完備を期するため、再調査を行なうことになりました。このため、本号から資料の整理まで、一時掲載を中止させていただきます。あしからず、ご諒察下さい。



地区別に整備された広域県
—福島県支部—
去る十月二日、鈴木学部長が来福のご連絡あり、先生のご希望に、久しぶりに学内の

【昭和37年・東北大学 皮膚科助教】
母校でも、今計画中の記念講堂が立派に完成されていなければならぬ。多くの新しい試みを感じ、うがままに遂行され、その後の学運発展に對して大きな影響を与えたのであつた。

学会と街と教授

吉田良夫

十月二十日、二十一日の両日、千葉市において、第二十六回東北皮膚科連合地方会が開催された。会長竹内勝教授、会場県庁新庁舎十階。一般演題九つ、それに招請講演、特別講演、シンポジウムと、もりたつたプログラムが、会長はじめ教職員各位の水きわった運営によって、つきからつきへと消化されていった。

追記討論を兼ねて、第二日、の終了は既に七時。直ちに京成会館において懇親会が行なわれた。にたられて、なぜ私が今まで学会

【昭和19年・東北大学 皮膚科助教】
母校でも、今計画中の記念講堂が立派に完成されていなければならぬ。多くの新しい試みを感じ、うがままに遂行され、その後の学運発展に對して大きな影響を与えたのであつた。

【昭和19年・東北大学 皮膚科助教】
母校でも、今計画中の記念講堂が立派に完成されていなければならぬ。多くの新しい試みを感じ、うがままに遂行され、その後の学運発展に對して大きな影響を与えたのであつた。

【昭和19年・東北大学 皮膚科助教】
母校でも、今計画中の記念講堂が立派に完成されていなければならぬ。多くの新しい試みを感じ、うがままに遂行され、その後の学運発展に對して大きな影響を与えたのであつた。

技術と伝統を誇る

心電計専門メーカー

優れたネットワークを擁して満足の頂ける
アフターサービスを実施しております。

福田エレクトロニクス株式会社

東京都文京区月町二丁目三四
電話(03)四一四六九

TOYOPET CORONA1500 DELUXE

悪路に強く
ハイウェイに美しい!

千葉トヨペット株式会社

千葉市新町10番地 TEL 千葉②代3141 営業所 船橋市 TEL 4700 八日市場市 TEL 508 松戸市 TEL 5901 鎌倉市 TEL 2511 佐原市 TEL 933